

低温期に露地あるいは無加温で栽培できる直売に適した切り花類

直売所に出荷する切り花栽培では“低コスト”が条件であることから、低温期に暖房管理を行う生産者が少ない。そのため、冬～早春は直売所では商品不足となっており、生産者においても一時的な収入減となっている。そこで、いくつかの一・二年草および宿根草を露地あるいは無加温ガラス室で栽培し、冬～早春に出荷できる切り花を選定した。

内 容

1. 栽培方法

すべての品目を露地と無加温ガラス室（以下、温室）で同時に栽培し、開花期および品質を比較した。露地は12月中旬～3月中旬をビニールでトンネル被覆した。10～5月の平均気温は露地では温室よりも0.5～8.0℃低く推移し、また、10℃を下回ったのは露地では11月上旬、温室では12月中旬であった。

2. 結 果

露地ではハナナ、ヒマワリ、マーガレットは開花せずに12月上旬に低温により枯死した。ガーベラ

も10月中旬から収穫できたものの、同様に枯死した。オキシペラタムおよびキンギョソウは開花したが、切り花長や花穂長が短く商品価値がなかった。温室ではすべての品目が露地より早く開花し、また、収穫期間も長く、ボリュームのある切り花が得られ、経営的に有効と考えられた（表）。

普及上の注意事項

本成果は加西市での実験結果であり、地域の気象条件によっては開花期等が異なる場合がある。

山中 正仁（農産園芸部）
（問い合わせ先 電話：0790-47-2425）

【露地】 表 露地および無加温ガラス室における開花期および品質の違い

品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	切り花長(cm)	備考	判定
オキシペラタム (コエルレウムセレクト)					○						□	20未満	切り花長短い	×
カーネーション (ソネットシリーズ)		○		■	■	■				■		40～60	5/31調査終了	○
ガーベラ(オムレット)			○	■	■	■	枯死					40～50		×
キンギョソウ(アスリートミックス)					○					□		60	花穂が短い、5/31調査終了	×
キンセンカ (ゴールドスター・オレンジスター)					○			■	■			30～50		○
スターチス・シヌアータ (コスモブルー)					○						■	50		△
ストック(カルテットシリーズ)					○				■			40(花穂まで)		○
ラナンキュラス(レイネットグリーン)					○					□		30未満	切り花長い	×

【無加温ガラス室】

品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	切り花長(cm)	備考	判定
オキシペラタム					○						■	50	5/31調査終了、据置栽培可能	○
カーネーション		○		■	■	■			■	■		50～90	5/31調査終了	○
ガーベラ			○	■	■	■	■	■	■			40～50	3/31調査終了、据置栽培可能	○
キンギョソウ					○			■	■	■		90	4/30調査終了	○
キンセンカ					○			■	■	■		50～70		○
スターチス・シヌアータ					○				■	■	■	90～100	5/31調査終了	○
ストック					○			■	■			60(花穂まで)		○
ハナナ(黒川ちりめん)					○				■	■		70		○
ヒマワリ(サンリッチレモン)					○		■					45	開花率90%	△
ヒマワリ(ゴッホ)					○		■					100	開花率70%	○
マーガレット(在来種)			○					■	■			120	3/31調査終了	○
ラナンキュラス					○			■	■	■		40～50	4月立枯れ病発生	○

()内は品種あるいはシリーズ名 ○ 定植 ■ 収穫 □ 収穫できるが商品価値無し